

産山学園 第5学年 英会話科 学習構想案

期 日 令和2年11月13日(金) 第4校時

場 所 5年教室

指導者 教諭 井 多恵

1 単元の構想

単元名		Where do you want to go? (わたしの行ってみたい国)		
単元の目標		(1) 行きたい国やしたいことについて, おおよその内容を捉え, 伝え合うことができる。 (2) 行ってみたい国について尋ねたり答えたりする表現を用いて, したいこと等理由を伝えあうことができる。 (3) 他者に配慮しながら, 行きたい国やしたいこと等の自分の考えを伝え合おうとする。		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準		【話すこと (やり取り)】 〈知識〉 国やしたいことについて Where do you want to go? 等たずね方やその答え方について理解している。 〈技能〉 行きたい国について I want to go to～。I want to see/ eat ～. を用いて, 考えや気持ちを伝え合うために必要な技能を身に付けている。	【聞くこと】 他者の考えを理解するために, 行きたい国やしたいこと等の必要な情報を聞き取っている。 【話すこと (やり取り)】 行きたい国やしたいこと等について, 自分の考えや気持ちを, 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。	【聞くこと】 3 ヒントクイズで相手の行きたい国を当てるという目的をもって捉えようとしている。 【話すこと (やり取り)】 自分の行きたい国や, そこで何をしたいのか考え, ヒントをつくり, 伝え合おうとしている。
単元終了時の学習者の姿 (単元のゴールの姿・期待される姿)				
世界の国々の名所や食べ物に関心を持ち, 自分の行きたい国や理由を考え, 伝えあうことができる児童。				
単元をつらぬく学習課題			本単元で働かせる見方・考え方	
行きたい国やしたいことについて伝える 3 ヒントクイズを作成し, 相手の行きたい国を予想しよう。			他者に配慮しながら, 行きたい国や自分の見たい場所, 食べたいものについて考え, 情報を整理して伝え合い, 必要な情報を聞きとること。	
指導計画と評価計画 (4 時間取扱い 本時 4/4)				
過程	時間	学習活動		具体の評価規準
一	2	① 世界の国について知る, 単元の学習課題をつかむ。 ② 世界の国の名所, 食べ物について聞き, どの国か予想する。(クイズ) ③ 自分の行きたい国を考え, 伝え合う。 ④ 世界の国の名所や食べ物から自分の見たいもの, 食べたい物を考える。 ⑤ 友だちに行きたい国の名所や食べ物などをたずねたり答えたりする。(国・名所食べ物カード交換)		【話すこと (やり取り)】 〈知識・技能〉 (ワークシート・行動観察) ○ Where do you want to go? I want to go to ～. を用いて行きたい国のたずね方, 答え方について理解している。 ○ 行きたい国について短い話の概要を捉える技能を身に付けている。 〈主体的に学習に取り組む態度〉 (ワークシート・行動観察) ○ 世界の国々の名所や食べ物について興味をもち, 自分の行きたい国を伝えようとする。
二	1	⑥ やり取りの中であいづちをして気持ちを伝える表現を知る。 I see./ Nice idea. /How about you?/ Excuse me? など ⑦ 自分が行きたい国や見たいもの, 食べたいものについて, モデルを聞いて, 情報を整理して伝える表現を知る。 ⑧ 行きたい国や理由を考え, 3 ヒントクイズのヒントを作る。(ワークシート) ⑨ クイズ大会で会話を続けるために, 自分の目標を決める。(まとめ・次時に向けてのふりかえり)		【聞くこと】 〈知識・技能〉 (ワークシート・発言) ○ 相手のことを知るために, 行きたい国や見たいもの, 食べたいものを尋ねたり答えたりする表現を理解している。 ○ 相手のことを知るために, 行きたい国や見たいもの, 食べたいものの概要を捉える技能を身に付けている。 【話すこと (やり取り)】 〈思考・判断・表現〉 (ワークシート・行動観察) ○ I want to see/ eat ～. の表現を用いて行きたい国や見たい, 食べたいものを考えて, クイズのヒントを伝えることができる。

三	1 (本時)	⑩ 行きたい国や見たいもの、食べたいものをたずねたり、答えたりする表現を用いて伝え合う。(行きたい国はどこ?クイズ) <u>I want to see/eat ~.</u> <u>Where do you want to go?</u> <u>I want to go to~.</u> ⑪ 学習をふり返り、つなげる。 友だちについて知ったことやがんばったことを振り返る。	【話すこと(やり取り)】 (思考・判断・表現) (ワークシート, 行動観察) ○ 自分のことをよく知ってもらったり相手のことを知ったりするために、行きたい国や見たいもの、食べたいものなどについて、互いの考えや気持ちを伝え合っている。 (主体的に学習に取り組む態度) (ワークシート・行動観察) ○ 自分のことをよく知ってもらったり相手のことを知ったりするために、行きたい国や見たいもの、食べたいものなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてお互いの考えを伝え合おうとしている。 ○ 行きたい国の学習についてふり返り、友だちの考えを聞いてわかったことを整理し、今後の生活や学習に生かそうとしている。
---	-----------	--	--

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所		
小学校学習指導要領 外国語2目標及び内容〈知識及び技能〉(1) 疑問文のうち、be 動詞で始まるものや助動詞(can, do など)で始まるもの、疑問詞(who, what, when, where, why, how)で始まるもの。 〈思考力・判断力・表現力等〉(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項ア 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項ア 聞くこと(ウ)友達や家族、学校生活など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話や説明を、イラストや写真などを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動ウ 話すこと(やり取り)(イ)日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。		
教材・題材の価値		
本単元は、行きたい国、したいことを考えて伝え合うことで世界の名所や食べ物などを知り、伝え合うことを通して必要な情報を整理して聞いたり、やり取りをするのに適した題材である。世界の国に関心を持ち、他者の考えを聞き共通点や相違点を知ることから、多様な考え方や価値観に触れ、コミュニケーションへの意欲を高めることが期待できる。		
本単元における系統		
英会話科では自己紹介、買い物、道案内、旅行など、特定の言語機能や場面が結びついた「基本表現・有用表現」を1年時から9年時まで取り扱っている。学年が上がる毎に身近な課題から世界に視野を広げた課題に取り組み、さらに、他者に配慮した丁寧な言い方、自分の意見についての理由の説明を加える言い方を学習していく。また外国語活動や外国語科、英語科で学習する内容を繰り返し復習する題材配列である。 場所を尋ねる表現(疑問詞 where など)は英会話「学校案内をしよう」という題材で9月に扱っている。本単元では、身近な教室の場所をたずねる活動から世界の国々に話題を広げ関心高めるとともに、自分の行きたい国とその理由を I want to~. を使って伝える。見たい場所、食べ物を中心に考え、ヒントを伝え合う場面で相手意識をもって行きたい国やその理由を伝え合うことにつなげる。		
【英会話科】		
〈1 s t〉1~4年 ○やさい・フルーツ (1年・2年) What's this? ○好きな食べ物(3年) Do you like curry and rice? Yes, I do. ○ランチメニューを作ろう (4年) What would you like?	〈2 n d〉5~7年 ○「学校案内をしよう」(5年) Where is the classroom? 「私の行ってみたい国」 Where do you want to go? I want to go to / see / eat ~. ○「道案内をしよう」(6・7年) Where is ~?	〈3 r d〉8~9年 ○自分の意思、目的などを伝える表現「不定詞」(8年) I want to eat many kinds of pizza. ○海外旅行でよく使う表現「道案内」(9年) Would you tell me the way to the ~?
【外国語活動・外国語科・英語科】		
〈1 s t〉1~4年 Unit5 What do you like? 何が好き? スポーツ、食べ物、果物 (3年) Unit1 Hello world! 色々な世界の言葉であいさつしよう (4年)	〈2 n d〉5~7年 Unit 3 You can see/ eat/ enjoy ~. (5年) Unit 5 Where is the post Office? (5年) Unit 3 Let's go to Italy. 行ってみたい国 (6年) 行ってみたい国とその理由(建物、食べ物、名物) Unit 8 イギリスの本 (7年) Where is my dictionary?	〈3 r d〉8~9年 Unit 2 A Trip to the U.K. (8年) Unit3 Career Day I want to be a chef. Unit 0 Show and Tell (9年)

児童の実態（単元の目標につながる学びの実態）

■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況

調査内容	正答率
Where を使用場面によって正しく用いることができる。	66.6%（誤答：Who is～?を選択している。3名）
食べるや見るの動作を示す eat /see を使用することができる。	88.8%（誤答：see を泳ぐと解答している。1名）

■本単元の学習に関する意識の状況 5年生 9名

調査内容	好き	どちらかと言え ば好き	どちらかと言え ば好きではない	好きではない
英会話の学習は好きですか。	4	5	0	0
あなたが一番身に付けたい英語の力はどれですか？	読む 1	聞く 1	話す (会話や発表) 6	書く 1
あなたが一番身につけるのが難しいと感じるのはどれですか？	読む 2	聞く 1	話す 3	書く 3
英会話の授業でできるようになりたいことは何ですか？（選択及び記述）	相手の話す内容を聞き取ること(8) より良い発音(7) 会話をつづけて話すこと(6) 相手に伝わる工夫(声の大きさ、表情など)(6) 英語で長くコミュニケーションを取ること(記述)			
英会話の授業を通してもっと知りたいことは何ですか？（選択）	自分のことを伝える(好きなことや生活)表現(2) 友だちや家族を紹介する表現(3) 自分の気持ちの伝え方(5) 新しい英語の言葉(6)			
	とても できる	できる	少しできる	もう少し かかる
単元のゴールに向かって積極的に取り組んでいますか？	7	2	0	0
授業のふりかえりから、本時でまなんだことを確かめることができますか？	5	4	0	0

■考察

（資質・能力に関して）外国語や英会話で学習した場所をたずねる Where の文や, eat, see などの動詞についてはほとんどの児童が理解できる。児童は want to を使った「～したい」の言い方や世界の国々についての学習に初めて取り組む。

（学びに関して）本学級では英会話の学習に対して「好き」や「どちらかと言えば好き」と肯定的に答えており、新しい語に対する興味関心が高く、特に話すことについて意欲的に取り組んでいる。しかし、7割の児童が「話すこと」や「書くこと」など、英語で表現・発信することを難しいと感じている。新しい英語に関心は高いが、単語の音声を覚えること話すことに苦手意識を持つ児童もいるため、表現に十分に慣れ親しませ、自信をもってやり取りをできるような手立てが必要である。主体的な学びに導くために、児童が伝えたい、自ら考えてみたいと思うような課題を設定することが必要である。また、「会話を続けたい」、「自分の気持ちを伝えたい」という意欲があるため、あいづちや感想を短く伝える表現など一言付け加えて返すことを促し、会話を楽しむ手立ても有効だと考える。

3 指導に当たっての留意点

【研究主題】

「わかる・できる」協働的な授業の創造

研究仮説：単元・授業のゴールの姿を明確にし、学び合い・高め合う学習活動を工夫すれば、「わかる・できる」授業になるだろう。

① 目標（ゴールの場）の明確化

単元の学習課題を明確にして相手意識をもって伝えたり、相互に考えを交流して予想するという目的意識をもち、必要な情報を伝えたり聞いたりする。（焦点化）

活動の前にゴールの姿（ビデオメッセージ）を実際に示して共有する。（ゴールの明確化）

② 思考の場の確保

児童が自分の行きたい国や見たい場所、食べたいものについて考えを持つために、イラストや写真を提示して捉えやすくする。（視覚化）

また、3ヒントクイズでヒントを作成する活動を通して、行きたい国やその理由をどのように表現するか思考する場をもたせる。（個人思考の場）

③ ふりかえりの工夫

児童が友だちの良さや自分のがんばりを「ふりかえりシート」に記述して「できた・わかった」という達成感をもたせる。（ふりかえりの視点）

4 本時の学習

(1) 目標 行きたい国や見たいもの、食べたいものなどの理由を伝え合うことができる。【思考・判断・表現】

(2) 展開

過程	時間	学習活動（発問） （◇予想される子供の発言）	指導上の留意事項 （学習活動の目的・意図、内容、方法等）
導入	10 分	1 本時の問題場面をつかむ。 ① Greeting ② Interview “Where do you want to go?” 同じ国のカードを持っている人をさがす。 C1: Where do you want to go? C2: I want to go to ~. 教師のところへ行き質問に答える。 ③ World Report ビデオメッセージを見て、クイズの進め方の例を提示する。 ◇ どの国のことだろう。 ◇ I want to eat(see)で食べたいもの（見たいもの）を説明している。	○世界各地の名所や食べ物写真やイラストを見ながら本時で使う表現を繰り返し練習し、どの国のものか確認する。 ○ビデオメッセージを提示して、クイズの進め方や伝えるときに必要な表現を示す。 （ゴールの明確化） ○ She likes spicy food. She wants to eat the soup! など、簡単な英語で説明して「～したい」という内容まで捉えさせる。 ○Small Talk（メッセージについて児童と短いやり取りをする）で英語学習への意欲を高める。
【学習課題】クイズ大会 3つのヒントを伝えあい、友だちの行きたい国を予想しよう。			【めあて】 見たいもの・食べたいものを伝え合おう。
展開	35 分	2 課題の解決に向けて活動する ④ Practice ヒントを伝えあうのに必要な表現を練習する。 ⑤ Activity たくさんの友だちから情報を集める。 C1: What do you want to do? C2: I want to see <u>Sydney Opera House</u> . C1: I see. C2: How about you? What do you want to do? C1: I want to eat <u>pizza</u> . It's delicious. How about you? C2: I want to eat <u>fish and chips</u> . ◇オーストラリアに行きたいのかな。 ◇ピザを食べたいのかな。 ⑥ Answer Check: クイズに答えよう。（発表） 行きたい国を全体で確かめる。 C: Where do you want to go? C1: I want to go to <u>Italy</u> .	○写真等を提示して What do you want to do?や I want to go to Sydney Opera House.など、何をしたいか尋ねたりヒントをだす表現を練習したりする。（視覚化） ○児童がタブレットで写真やイラストを提示しながらヒントを伝える。（視覚化） ○会話を続けるための表現(How about you?など)や、あいづち(I see./ Great.)を使って、目を見ながら会話をつなげることを促す。 （相手意識をもって伝える）
終末	5 分	3 学習のまとめを行う。 ◇～さんは～を（食べたい・見たい）ので（国）に行きたいということを初めて知った。 ◇自分の食べたいものを伝えることができた。 【期待される学びの姿】 「Where do you want to go?」「I want to see/eat~.」の表現を使って行きたい国や理由を伝えあっている。	【具体的評価規準】 話すこと（やり取り）思考・判断・表現（ワークシート、行動観察） 行きたい国や見たいもの、食べたいものなどについて、I want to go to /see/eat~.などを用いて互いの考えや気持ちを伝え合っている。 【到達していない児童への手立て】 ○モデルを示したり、キーワードを補足したりして活動を支援する。（個別の支援） 【まとめ】行きたい国やその理由を伝えるときは、見たいもの・食べたいものを I want to go to / see / eat と言う。 ○本時のふりかえりでは視点を提示してまとめさせる。（ふりかえりの視点） あ：あ～なるほど か：感じた・思ったこと う：うまい！友だちの上手だったこと し：調べてみたい、もっと知りたいこと

【板書計画】

Friday, November 13th, sunny

㊦ 行きたい国はどこ？見たいもの、したいことを伝えあおう。（3ヒントクイズ大会）

あいづち

I see. なるほど

Great! すごい！

たしかめるとき

Excuse me?

なんて言ったの？

ききかえすとき

How about you? あなたはど

う？

わかった！

I got it!

もう一つヒントをください。

Another hint, please.

㊦

What do you want to do?

I want to see/ eat _____.

㊦

Let's Try: 友だちに聞いてみよう。

㊦

Answer Check

Where do you want to go?

I want to go to _____.

㊦

あ

〇〇さんは、オペラハウスが見たいからオーストラリアに行きたいとわかった。

し

〇〇さんのクイズで、韓国についてもっと調べてみたいと思った。

1 Activity

2 ビデオメッセージ

3 Practice

4 ペアトーク

5 ㊦ ふりかえり